



新型インフルエンザ対策



●感染を防ぐには？

新型インフルエンザは、発熱していなくても感染させる特性があると考えられています。そのため、自分の感染に気付かずに出出している患者さんと、知らないうちに接して、感染してしまう可能性があります。

【たいせつなこと】

1. 手洗いとうがい



* 外から帰ったら、手洗いとうがいをする習慣をつけましょう！
流水で、手首までしっかりと洗いましょう。

2. マスクの着用



* ウィルスはどこにいるかわかりません。透過性の低いものが望ましい。

3. 咳エチケット



* 咳・クシャミの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1 m以上離れる。

* 鼻汁・痰などを含んだティッシュを、すぐに蓋付きの廃棄物箱に棄てられる環境を整える。

* 咳をしている人にマスクの着用を促す。

マスクは透過性の低いもの、例えば医療現場で使用されるサージカルマスクが望ましいですが、通常の市販マスクでも咳をしている人のウィルスの拡散をある程度防ぐ効果はある。一方、健常人がマスクを着用しているからといって、ウィルスの吸入を完全に予防できるわけではない。

●今後の準備は？

感染を防ぐには不要不急の外出をしないことが原則です。そのため、国のガイドラインでは、少なくとも2週間程度の食糧・日用品を準備しておくことを勧めています。買い物に出掛けなくても済むよう、長期保存が可能なものを普段より少し多めに準備すると良いでしょう。必要な物品は各家庭や個人によって異なります。そのため、それぞれの事情に応じて準備することが大切です。また、どうしても外出しなくてはならない場合に備え、ウィルス防護タイプのマスクをぜひとも準備して下さい。

●症状は？

通常インフルエンザの症状に類似し、発熱、脱力、食欲不振、発咳などがみられる。鼻汁、咽頭痛、吐き気、下痢がみられることがある。
あくまで流行地に行ったか、行った人と接触した可能性があることが重要です。

●感染の心配がある人は？

医療機関に直接受診せず、保健所に設置されている「発熱センター」に電話をして下さい。「発熱センター」へ相談のうえで、受診が必要な方には受診先の医療機関を特定してご案内しますの
発熱センター：富士・東部保健所 地域保健課 Tel.0555-24-9035

【相談窓口】



富士・東部保健福祉事務所
福祉保健部健康増進課感染症担当

0555-24-9035
055-223-1494

道志村役場住民健康課

0554-52-2113